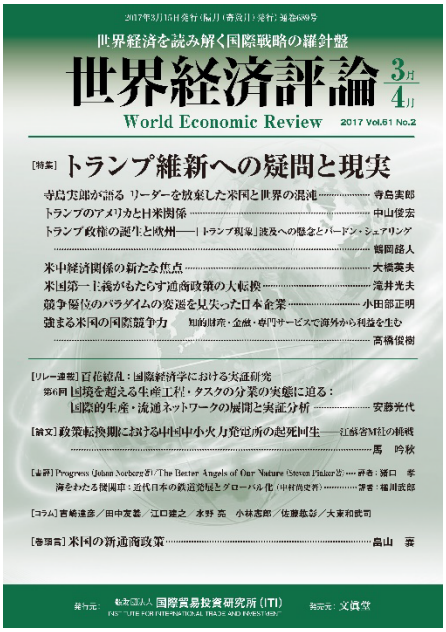
Back Number

本論文は

世界経済評論 2017 年 3/4 月号

(2017 年 3 月発行)

掲載の記事です


2017年3月15日発行（毎月1回15日発行）通巻689号

世界経済を読み解く国際戦略の羅針盤

世界経済評論 3月/4月

World Economic Review 2017 Vol.61 No.2

[特集] トランプ維新への疑問と現実

寺島実郎が語る リーダーを放棄した米国と世界の混迷……寺島実郎

トランプのアメリカと日米関係……中山俊宏

トランプ政権の誕生と欧州――「トランプ現象」波及への懸念とバードン・シェアリング……鶴岡路人

米中経済関係の新たな焦点……大橋英夫

米国第一主義がもたらす通商政策の大転換……滝井光夫

競争優位のパラダイムの変遷を見失った日本企業……小田部正明

強まる米国の国際競争力 知的財産・金融・専門サービスで海外から利益を生む……高橋俊樹

[リレー連載] 百花繚乱：国際経済学における実証研究

第6回 国境を超える生産工程・タスクの分業の実態に迫る：国際的生産・流通ネットワークの展開と実証分析……安藤光代

[論文] 政策転換期における中国中小火力発電所の起死回生――江蘇省X社の挑戦……馬 吟秋

[書評] Progress (Johan Norberg著)/The Better Angels of Our Nature (Steven Pinker著)……評者：園田 孝

海をわたる関税：近代日本の鉄道発展とグローバル化（中村尚史著）……評者：福川武郎

[コラム] 吉崎達彦／田中友義／江口建之／水野 亮／小林志郎／佐藤敬彰／大東和武司

[巻頭言] 米国の新通商政策……畠山 襄

発行元：一般社団法人 国際貿易投資研究所（ITI） INSTITUTE FOR INTERNATIONAL TRADE AND INVESTMENT

発売元：文眞堂

世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料 1,320円×6冊=7,920円 ▶ 6,600円 税込

17% 送料無料 OFF

富士山マガジンサービス限定特典

定期購読期間中 デジタル版バックナンバー 読み放題!!

※通巻682号以降

世界経済評論 定期購読

[24時間・年中無休] 0120-223-223

お支払い方法 Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp 雑誌のオンライン書店

佐藤 紘彰

アメリカと俳句

今度 New Directions 社がぼくの俳句連歌講演集を出してくれることになった。この出版社は日本の思潮社や書肆山田に似て詩を出すことで有名だが，散文も出す。古くは三島由紀夫『仮面の告白』，それから津島佑子，最近刊は多和田葉子。多和田はドイツ語からの英訳である。

ぼくが講演原稿を纏めることにしたのは，1979 年，予期せぬことにアメリカ俳句協会の会長に選ばれ，以来あちこち俳句や連歌のことを話すことがあったからだ。去る 9 月にも同協会で「娼婦と呼ばれた俳人」鈴木しづ子のことを話した。

「予期せぬ」と言ったのは理由がある。1977 年，時の同協会会長ウィリアム・ヒギンスンさんに「現代詩の英訳者として俳句をどう見るか」話すよう依頼された。ぼくは同志社で英文学を学んだ頃「俳句のような短いものが何故詩として成立するか」という疑問を持ち，山本健吉のいう「座の文学」から離れたものとしては困難ではないかという一応の結論を得ていた。だから，ぼくの話は否定的なものだった。それなのに翌年俳句協会会長に選ばれたからだ。

山本健吉に似た考えはアメリカの日本文学研究者にもあった。「宮廷詩」すなわち古典和歌の研究では草分けとなったプリンストン大学のアール・マイナー先生は，日本の俳句は長い伝統を後ろ盾にしている。ところが，日本以外で書かれる俳句はそれがない，従って「詩」として成立が難しいと断じていた。先生は元々英文学の学者で，日本文学を兼ねることになった，珍しい学者だった。

もちろん，そのような議論は現実の前には無効である。外国で俳句が書かれ始めたのは 1900 年ほどに遡る。以後徐々に広がり，特に第二次大戦が終わってからの浸透は目覚ましい。その点，アメリカで俳句協会が発足したのが 1968 年というのは多少遅きに失したと言えなくもない。

同協会初代会長は発足人の一人ハロルド・ヘンダーソン。ぼくはこの方の謦咳に接する機会はなかったが，1930 年代初め京都に住んでいた時に英語の句集を出し，1958 年には『俳句入門』を出した。この本は，芭蕉，蕪村，一茶，子規などを簡明な形で説明した小冊で，俳句を近づき易いものとした。これに対して数巻にわたる『俳句の歴史』をものした G. H. ブライスは「俳句は禅」という考えを打ち出し，これがアメリカなどでの俳句の精神的理解の基になった。

ちなみに，このヘンダーソンとブライスは昭和天皇の「人間宣言」「神格否定」に関わったことでも有名だ。しかし，このことに触れる 1946 年正月の詔勅をそのように理解したのはニューヨーク・タイムズ紙などの外国の理解であって，日本人は天皇が西欧でいう「神」だとは考えていなかったため，そうは理解しなかったと，ぼくは思う。

それにしても，敗戦後アメリカにおける俳句や禅の受け入れは不思議である。ぼくはつい最近，日本の空襲に関わる日本の詩をいくたりか英語に訳すよう依頼されたが，これら空襲の大々的殺戮の計画性を考えると，焼き尽くした国の文化になぜ引かれたのか。禅については『アメリカにおける禅』（1994 年）という本もあるが，宮沢賢治の英訳を通じて知り合った詩人ギャリー・スナイダーさんは，1950 年代から 1960 年代に日本になんども行き，禅の修業「遠鉢」をやったこともある。

スナイダーさんは俳句こそあまり多く書かなかったようだが，『路上』で有名なジャック・ケルアックに俳句を教えた。そしてその骨子は「俳句は禅」で，この精神の伝達にスナイダーさんが使ったのが，子規の句でもあまり知られていないはずの明治20年の句「ぬれ足で雀のあるく廊下かな」という。

ケルアックの句を一つ挙げる。

Missing a kick
at the icebox door
It closed anyway.

これを「冷蔵庫戸を蹴仕損じて自分閉ず」と訳したら，通じるだろうか。原句は，冷蔵庫の戸を蹴って閉めようと失敗したが，戸はそのまま閉まってしまった，という意味である。ケルアックは酒を飲みすぎて1969年，47歳で死んだ。その俳句は2003年一冊に纏められた。

スナイダーさんの友人の一人アレン・ギンズバーグも俳句を書いた。ただ，この詩人はケルアックと異なり，俳句を通じて悟道しようとした形跡はない。「古池や」に触発された歌を書き，それに曲を付けたものがある（インターネットでAllen Ginsberg Old Pondと入れればYoutubeで聞くことができる）が，その以外には，晩年，一行17シラブルの俳句を一連書いただけだ。

この，「一行17シラブルの俳句」と聞いて驚く方々も多いだろう。というのは，日本の大方が「英語（その他の外国語）で書かれる俳句は三行」と理解しているに違いないからだ。この理解は正しい。つまり，日本と外国では俳句の「詩形」が異なったわけだ。次の句はO. Mabson Southardという，俳句を一貫して5－7－5，三行で書いた人のものである。

Across the still lake
through upcurls of morning mist—
the cry of a loon

湖の
朝霧舞うや
アビの声

それにも関わらずアメリカ（その他の国々）で「一行俳句」を書く人たちが出てきたについては，ぼくがかなり貢献したと思っている。それはぼくが芭蕉にせよ，尾崎放哉にせよ，ほぼ一貫して一行に訳してきたからだ。

ところで，英語で書かれる俳句で大きな貢献をした人はコー・ヴァン・フーヴェルさんである。コーさんはぼくが俳句会長になる前の1978年会長だった人で，その年，山本健吉と森澄雄の二人をニューヨークに招待することができたが，何よりも，1974年を手始めに the haiku anthology という英語の句集を編集，同じ題で，しかしそれぞれ内容の異なる本を三冊，大手出版社から出版したことにある。句集はほとんどが小さな出版社から出され，また自費出版のものが普通である。

コーさんは，こうしたアンソロジーに続いて，2007年は好きな野球について『野球俳句』を出した。これは「野球」という言葉を作ったと言われる子規を含め日本俳句作家とともにアメリカ俳句作家の句を選んだもので，これは大いに当たった。

コーさんは，「三行」の俳句とともに「一行」の俳句も書く。一行で書いたもののうち次の句はメイン州で既に作っている自分の墓に刻んでいるという。

a stick goes over the falls at sunset
棒切れや日暮れの瀧を越え落ち る

さとう ひろあき　ジャパン・タイムス紙コラムニスト
在米48年。